

## 参加校

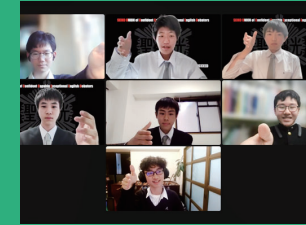
- (青森) 八戸聖ウルスラ学院中学校  
(岩手) 岩手県立一関第一高等学校附属中学校  
(茨城) 茨城県立太田第一高等学校附属中学校  
茨城県立勝田中等教育学校  
東洋大学附属牛久中学校  
(栃木) 栃木県立宇都宮東高等学校附属中学校  
(千葉) 東邦大学付属東邦中学校  
翔凜中学校  
(東京) 筑波大学附属駒場中学校  
東京都立小石川中等教育学校  
東京都立武蔵高等学校附属中学校  
東京都立三鷹中等教育学校  
東京都立富士高等学校附属中学校  
東京都立大泉高等学校附属中学校  
千代田区立九段中等教育学校  
渋谷教育学園渋谷中学校  
武蔵高等学校中学校  
広尾学園中学校  
品川女子学院中等部  
獨協中学校  
(神奈川) 浅野中学校  
聖光学院中学校  
栄光学園中学校  
湘南白百合学園中学校  
(長野) 長野県諏訪清陵高校附属中学校  
(愛知) 東海中学校  
南山中学校女子部  
大成中学校  
(兵庫) 神戸大学附属中等教育学校  
(岡山) 岡山県立岡山大安寺中等教育学校  
(徳島) 徳島県立城ノ内中等教育学校  
(愛媛) 愛媛県立松山西中等教育学校  
(熊本) 熊本県立八代中学校  
(宮崎) 宮崎県立宮崎西高等学校附属中学校

34校

PDA

# 第7回PDA 中学生即興型 英語ディベート 全国大会

The 7th PDA  
Junior High School Parliamentary Debate  
National Competition



Supported by  
日本財団  
THE NIPPON  
FOUNDATION

KDDI  
KDDI Foundation

一般財団法人  
三菱みらい育成財団

JAPAN SOCIETY FOR THE PROMOTION OF SCIENCE  
San Francisco  
Office

【主催】一般社団法人 パーラメンタリーディベート人財育成協会(PDA)

【共催】大阪公立大学

【後援】朝日新聞社、朝日中高生新聞、一般社団法人 日本英語交流連盟、JSPS San Francisco Office

【助成】公益財団法人 日本財団、公益財団法人 KDDI財団、一般財団法人 三菱みらい育成財団

【協賛】世界の第2言語学習者の英語運用能力測定を目的に開発された

TOEFL Primary(CEFR B1前半迄測定可)、TOEFL Junior(CEFR B2後半迄測定可)

---

## 趣旨

---

一般社団法人パラメンタリーディベート人財育成協会(PDA)では、グローバルに活躍する人財育成の一手法として、英語での発信力、論理的思考力、幅広い知識・考え方、プレゼンテーション力、コミュニケーション力などの複数の力を効果的に訓練可能な即興型英語ディベートを推進しています。本大会では、即興型英語ディベートの普段の練習の成果を試し、全国の中学生と議論を交わすことで、さらなる成長・学習意欲を促すことを目的とします。授業での取り組み成果を発揮できるよう、形式は授業導入可能なフォーマットです。

参照: 文部科学省助成事業 <http://englishdebate.org/debate/>

---

## スケジュール

---

日程 2024年3月17日(日)

- 09:30 受付
- 09:50 開会式
- 10:20 ラウンド1
- 11:20 昼食交流会(11:30 ~ 12:00)
- 12:10 ラウンド2
- 13:20 ラウンド3
- 14:30 決勝進出チーム発表、決勝準備
- 14:35 キーノート
- 14:50 決勝
- 15:20 表彰式、アンケート
- 15:40 終了

---

## ご挨拶

---

第7回PDA中学生即興型英語ディベート全国大会へのご参加をありがとうございます。毎年参加校数が増えており、中学生が英語を使って即興で議論する取り組みへの関心が高まっていると感じます。高等学校の新学習指導要領では、2022年度から英語科の新科目「論理・表現」が掲げられ、活動としてディベートが明記されています。本大会で取り扱うディベートは、授業の50分で完結する形式であり、中学生にとって近い将来役立つ内容です。英語で発信する力のほか、様々な論題について多様な視点から考える力を鍛える一助となることを願っています。キーノートレクチャーもお楽しみください。



一般社団法人パラメンタリーディベート人財育成協会(PDA)代表理事  
中川智皓(大阪公立大学工学研究科・准教授)  
東京大学生産技術研究所 リサーチフェロー  
理化学研究所 客員研究員  
寝屋川市教育委員

---

## キーノートスピーカーからのメッセージ

---

私は人道支援の現場で働いています。世界でよい支援をしようと思うと、本当に自分が伝えたいことを言語化しなければなりません。私自身、それができなくて悔しい思いをしたことが何度もあります。この大会は、英語力だけでなく、批判的思考や公共の場での発言力を養う絶好の機会です。異なる視点を理解し、自分の意見を論理的に伝えることの重要性を学び、グローバルな視野を広げてください。皆さんの勇気ある挑戦と、これからの成長を心から応援しています。この経験が、将来にわたって皆さんの人生にとって貴重な財産となることを願っています。頑張ってください!



特定非営利活動法人(認定NPO) ピースウィンズ・ジャパン (Peace Winds)  
空飛ぶ捜索医療団 "ARROWS" プロジェクトリーダー  
稲葉 基高 氏